

中央大学兵庫白門会

中央大学
兵庫白門会報
第36号

発行日
2023年9月1日



新たな門出

支部長 走出保雄

兵庫白門会の皆様には、平素から支部活動にたいしましてご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

2020年3月から始まった外出・活動の自粛などかつて経験をしたことの無い不自由な生活を強いられた新型コロナウイルス感染症もこの5月から5類季節性インフルエンザに移行され、徐々に社会全体が自由な行動が出来る状況になってまいりました。

3年間支部活動も休眠状況でしたが、コロナの増加傾向を判断しながら活動を再開致したいと思います。会員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

さて、恒例の第99回箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競争）は皆様すでにご承知の通り22年ぶりの総合2位という素晴らしい成績で完全復活を成し遂げました。昨年の出雲駅伝3位・全日本大学駅伝7位と伝統の力の復活が箱根駅伝で現実となりました。来年は箱根駅伝100回の記念大会になります。往年の6連覇の強い中大の力で総合優勝を目指して頑張りたいと思います。近畿ブロック有志にて現地での応援も企画されております。希望者の方は是非ご参加下さい。

一方「中長期事業計画“Chuo Vision 2025”」の中心事業である新キャンパス移転も去る3月に実施されいよいよ、法学部の茗荷谷キャンパスが開校されました。中大聖地の駿河台から多摩に移転、以来45年ぶりに法学部のみの移転ながら都心に再び帰ってきました。

また同時に法科大学院も駿河台キャンパスに移転。学会本部も同時に移転して活動しております。今後は多摩キャンパスに2学部の新学部の創設も検討されているようです。本年度は新しい中央大学の門出の年です。今後の母校中大の発展に期待したいと思います。詳細は広報課の野口課長の中大広報便りをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い兵庫白門会活動も通常の活動に移行したいと考えております。総会懇親会は例年通り9月30日（土）に開催を予定しております。現在の状況に特段の変化が無い限り実施したいと思っておりますので、会員の皆さまのご参加をお願い申し上げます。また、昨年に続き、第55回全日本大学駅伝応援を近畿ブロックの会員の皆様と一緒にバスにて伊勢へ行く予定です。事務局（電話078(321)5558）にお問い合わせ下さい。

今後とも兵庫白門会は“集い”“接し”“知る”を実行して会員相互の絆を大切にしたいと考えております。会員の高齢化が進んでおります。まだ兵庫白門会を知らない同窓の方がおられましたら是非お誘い下さい。皆様の力で会の発展を支えて下さい。よろしくお願いいたします。総会懇親会でお会いできる日を楽しみにしております。



《支部総会・懇親会のお知らせ》

日時 令和5年9月30日（土） 12:00～14:00

場所 ANAクラウンプラザホテル神戸

9階 ローズマリーの間

会費 1万円

（卒業後2年以内の会員、女性会員は半額）

その他 コロナの解禁状況下とはいえ完全収束ではないため簡素化の予定

（写真は令和5年新年会の物です。わかりにくいですが距離を開けてアクリル板設置でした。）





ウィズ・コロナの時代における中央大学のさらなる発展

学校法人中央大学理事長 大村雅彦

兵庫白門会の皆様、ご無沙汰しております。

大学はコロナ禍の前の体制にほぼ戻り、活気に満ちた大学の姿に復帰しました。コロナは、負の側面だけでなく、社会の変化を促進した側面もあります。とりわけ、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進です。先進諸国に比べて日本はデジタル化が大幅に遅れていました。皮肉なことに、デジタル化を強力に推進したのはコロナウイルスだったといえます。

さて、中央大学の中長期事業計画CHUO VISION 2025 は、お陰様で滞りなく進捗して参りました。目玉事業でありました「茗荷谷キャンパス」の建設および法学部の都心移転も、この春、無事に完了しました。駿河台記念館を建て替えた「駿河台キャンパス」も完成し、専門職大学院であるロースクールとビジネススクールを収容し、また、委員会本部事務局なども、仮住まいのビルから移転を完了しました。体育館を建設した「小石川キャンパス」も含めると、一挙に3つの「キャンパス」が都心に誕生したことになります。

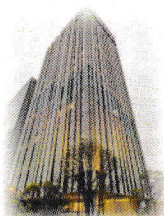
そうすると、懸念されるのは、キャンパスがあちこちに離れていて大丈夫かという点です。これを補うのがDXです。今、

中央大学は、中長期計画の一環として、業務のDXを全学的に推進しようとしており、段階的に導入しています。そして授業も、すでにオンラインの経験が蓄積されていますので、学生は離れたキャンパスからでも授業を受講することができます。これにより、運動部の選手が都心のキャンパスに毎日通わなくても、運動施設の完備した多摩キャンパスから相当数の授業が取れることになります。こういったDXのメリットはできるだけ活用していかなければならないと考えています。

運動部といいますと、来年正月の箱根駅伝は記念すべき第100回大会となります。2年前にシード権を回復し、昨年は総合2位まで一気に登り詰めました。第100回大会は総合優勝に向けて励んでおりますので、引き続き、熱いご声援を頂きますと幸いです。

学生、学員の皆さまおよび教職員が One Chuo となって中央大学が発展していけますように、引き続きご支援・ご協力のほど、心からお願い申し上げます。

末筆ながら、兵庫白門会の皆様とご家族のご健勝をお祈り申し上げます。



2023年4月、東京都心に3つの新キャンパスを開校

中央大学広報室広報課課長 野口陽史

中長期事業計画「Chuo Vision 2025」に基づくキャンパス整備が着々と進み、いよいよ本年4月、東京都心に3つの新キャンパス（茗荷谷キャンパス、駿河台キャンパス、小石川キャンパス）を開校しました。

法学部、大学院法学研究科が茗荷谷キャンパスへ移転し、体育施設として小石川キャンパスも同時に開設。駿河台キャンパスにはロースクール、ビジネススクールが移転します。

茗荷谷キャンパスの風格のある赤レンガ造りの外観は、中央大学の前身である英吉利法律学校の校舎をモチーフとしており、低層階には旧駿河台校舎と同じ尖頭型アーチを取り入れています。特徴的な施設は図書館と食堂で、中央大学の創始者が学んだイギリスのミドルテンブルを模した重厚で格式ある英国調の意匠となっています。大学施設の他、スターバックス、郵便局、保育所、キッズルーム、文京区の地域活動センターも入っており、地域に開かれたキャンパスとして地域の方々にもご利用いただいています。

駿河台キャンパスは、中央大学で学ぶ多様な個性のある人材が将来に向かって成長、発展していくイメージを縦基調で表現した外観です。ロースクール、ビジネススクールの教室や研究室、図書室に加えて、学員会の本部機能、会議室やラウンジな

ど多様な用途に対応しています。新しさの中にも、建替え前の駿河台記念館で使われていた大理石を再設置することで本学の歴史と記憶が継承されており、四季折々の植物が楽しめる緑地が設えられたエントランス周辺はキャンパス来訪者の憩いの場となっています。

御茶ノ水の景色を一望する19階には、ワンランク上の上質でホテルライクな空間でお食事や喫茶を楽しむダイニングがオープンしました（店舗名：Good View Dining -グッドビューダイニング-）。卒業生の皆様、学生、教職員から地域の皆様まで幅広くご利用いただけます。圧巻の眺望と美食をぜひお楽しみください。

今回のキャンパス整備により、法学部と大学院法学研究科、そしてロースクールまで含めた一貫した運営が可能となり、本学の伝統である法曹教育を一層強化するとともに、駿河台キャンパスは高度専門職業人養成の拠点として、経営のわかる法律家、法律のわかる経営者といった複眼的視野を持つ人財を養成してまいります。

都心と多摩の2大キャンパスを拠点として新たな歴史を刻み、日本へそして世界へ開かれた大学として発展を続ける中央大学にどうぞご期待ください。

『人生を変える8万円。知ってる人は始めてる。』

公明党 参議院議員 高橋光男（令和3年法学部卒）



『人生を変える8万円。知ってる人は始めてる。』

今から9年前（2014年）、通勤電車内の中吊り広告に目が留まりました。

よく見ると『中央大学法学部通信教育課程：基本授業料は年額8万円、在学生の8割以上は働きながら学ぶ社会人、通学課程と同じ「法科の中央」の教員が質の高い授業を展開』とありました。

当時、私は霞が関で働く外務官僚でした。01年にポルトガル語専門職として入省。国内外で15年近く勤務する中で国内法をキチンと学びたいと漠然とした希望があり、「よし、挑戦してみよう！」と一念発起。15年春、白門の扉をたたきました。

その後、自身も全く想像しなかった3つの転機を迎えることになりました。

第一に、入学した翌年春に在ブラジル日本大使館へ赴任となり、文字通り地球の裏側から通信教育を受けることになりました。レポート郵送だけでも往復1か月以上要し、キャンパスでのスクーリングにも参加できない状況となったため、いやが応にも計画的な学修を迫られました。



リカレント教育の重要性やリスクリングの要点に関する所感については、以下URL又はQRコードをご参照いただければ幸いです。

<https://dcontents.komei-shimbun.jp/komesta/lifehack/takahashi-mitsuo> 『KomeSTA!』

第二は、ブラジル在勤中の2018年に急遽、参議院議員選挙・兵庫選挙区から公明党公認予定候補として挑戦させて頂くことになったこ

とです。生まれも育ちも兵庫の自分として、世界に誇れる兵庫、日本を建設するために外交官の経験を活かせるならと挑戦を決意。在学中にも拘わらず「中大学生」ということで、大変ありがたくも、二階俊博先生（元自民党幹事長、国会白門会会長・和歌山白門会支部長）や走出保雄兵庫白門会支部長などから多大なるご支援を賜り、翌19年に初当選させて頂くことができました。



第三は、以上のような紆余曲折を経つつも履修を続け、2021年3月に卒業させて頂き、以来、白門会・学会会の一人として様々な活動に参加し、御縁を結ばさせて頂くことができたこと

です。特に印象深かったのは、昨秋、近畿白門会・父母会の皆様と共に参加した全日本大学駅伝・伊勢路への応援です。とりわけ、6区・吉居大和選手の見事な追い上げで7位・シード権獲得。その後、本年の箱根駅伝で総合準優勝を見事成し遂げました。あらためて「名門復活」の喜びを皆様と分かち合いたいです！

このように振り返ってみると、中央大学の通信教育を始めたことで、本当に人生が変わりました。

本年で任期6年のうち4年目となりました。昨年から公明党学生局長代理も務めており、昨秋には多摩キャンパスで3年ぶりにリアル開催された白門祭にも訪れ、学生の皆さんと交流しました。今後とも学生はじめ若者の声を国政に届け、白門会の皆様から頂いたご恩に報いるためにも国政で全力を尽くしてまいります。

中央大学、そして兵庫白門会の更なる発展を心からお祈り申し上げますと共に、これからも変わらぬご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。（了）

鉄道と町の復活を夢見て

株式会社松本工務店 代表取締役 松本貞人（昭和59年理工学部卒）



4月24日、長く幸四郎の名で親しまれた歌舞伎役者の2代目松本白鸚が54年にわたって主演してきたミュージカル「ラ・マンチャの男」のファイナル公演千秋楽を迎えました。実に半世紀以上も主演を続けた、まさに白鸚丈の代名詞と言っても過言ではない作品でしょう。

私が中央大学を卒業後に家業の建設業を継ぎ、早いもので30年以上の年月が流れました。白鸚丈の54年には遠く及びませんが、家族のため、従業員のために、がむしゃらに働いてきた30年でした。また仕事と並行して、地域のお祭りやイベントへ積極的に企画・参加し、地元波賀町の振興のためにも、微力ながら力を尽くしてきました。この間様々な社会情勢の変化のなかで、建設業や地方を取り巻く状況も目まぐるしく変わり、私自身「VUCA時代」を肌で実感する日々を送っております。そんな私が今全力で取り組んでいるのが「波賀森林鉄道復活プロジェクト」です。

私の地元波賀町は、兵庫県北西部にあって北は氷ノ山に接し、県下有数の森林資源に恵まれた町として古くから知られていました。大正年間に本格的な製材業が始まり、特に昭和10～20年代にかけて最盛期を迎えて「大阪営林局のドル箱」と言われておりました。その頃輸送を担っていたのが「波賀森林鉄道」です。総延長が60数kmと言われる一大路線網でしたが、戦後に入って木材輸送の主流がトラックになったことや、外国産材の輸入などもあって相次いで廃線となり、昭和43年に全線が廃止されました。私が8歳のときの事です。

森林鉄道が走っていたのはおよそ50年間。この50年間は、そのまま波賀町に最も活気があった時期とリンクしております。その後波賀町は他の地方同様、都市部への人口流出や高齢化が進み、全盛期の面影は見ると影もありません。この町で生まれ育った私としては、忸怩たる思いがありました。波賀森林鉄道復活プロジェクトはそんな地域の衰退を食い止めようと、志を同じくする仲間たちが集まり、波賀町振興の起爆剤として推し進めているプロジェクトです。具体的には、地元の宿泊施設「フォレストステーション波賀」敷地内に線路を敷き、観光資源として復活させ、地域活性化につなげようというものです。タイミングよく、富山の立山砂防工事専用軌道で使っていたディーゼル機関車が地方公共団体向けの競売に掛けられました。これを市と連携して譲り受け、市から貸与される形で使用させていただくことになりました。現在は、周辺施設や線路の整備を進めている最中です。今はたった15mの短い区間ですが、林鉄開通から100年となる令和6年には、678mの延伸を実現させる計画でおります。

真実や見果てぬ夢を追い求めた「ラ・マンチャの男」のドン・キホーテよろしく、私が追い求める「波賀森林鉄道復活」の夢、そして「波賀町復活」の夢。夢を夢のまま終わらせずに実現させるためにも、これからも精一杯頑張らねばという思いが、私の中でたぎっております。

文末になりましたが、兵庫白門会の益々の発展、会員各位のご健勝とご繁栄を祈念いたします。宍粟市波賀町へお立ち寄りの際は、ぜひ波賀森林鉄道を一目ご覧ください。



川上 法男 (昭和50年法学部卒)

人生を楽しむこと、この年齢になると、益々、その大切さがわかってきます。

スポーツであれ、音楽であれ、もの作りであれ、人それぞれに楽しみ方は様々です。私の趣味の中に、高校1年生の頃から、長く続けているものがあります。それは、ギターを弾きながらフォークソングを歌うことです。いまだに男性4人のバンドで演奏活動をしております。

フォークソングと言っても非常に幅が広いのですが、歌い続けているのは、モダンフォークとかアメリカンフォークと言われているジャンルの曲です。

フォークソングとの出会いは、私が中学生の頃に遡ります。ある日の深夜、ラジオから流れてきた音楽がありました。美しいメロディとハーモニー、その素朴な歌い方、そして心を癒すギターの音色。今まで、音楽を聴いてこんなに感動したことはありませんでした。

その曲は、キングストン・トリオの「500マイル」、ピーター・ポール＆マリーの「悲惨な戦争」など、初めは英語の歌詞の内容さえわかりませんでした。心が非常にときめきました。

あっという間にフォークソングの虜になってしまいました。早速レコードを買いに行き、ギターを弾き始めました。

当時人気のあったバンドやシンガーは「ブラザーズ・フォー」「キングストン・トリオ」「PP&M」「ジョン・バエズ」などです。彼らの来日公演などもあり、ファンがあつという間に増えて行きました。彼らの音楽やファッションが、当時の若者たちに広がって行きました。バンドの編成は、アコースティックギター、バンジョー、ウッドベースを弾きながらコーラス&ハーモニーを披露するスタイルが中心でした。

今では、メジャーになった歌手も、当時はモダン・フォークの影響を受けていたようです。例えば、森山良子はジョン・バエズ、小田和正はPP&Mの曲を初期のレパートリーにしていました。彼らも、モダン・フォークの影響を非常に受けながら、オリジナル曲を作り、日本のフォークソングの礎を築いて行ったようです。

このような歴史の中で、生まれたモダン・フォークの名曲で今も歌われている曲は多々あります。代表曲としては、ピート・シーガーがロシア民謡を元に作った反戦歌でもある「花はどこへ行った」、ボブ・ディランが作った反戦歌でPP&Mの歌で大ヒットした「風に吹かれて」、そして「500マイル」「グリーン・グリーン」などは、今も世界中で歌い継がれています。

この時代(1960年代)に、横浜で育った私のバンド活動が始まりました。高校で軽音楽部に入部し、同級生と男性4人組の「ブラザーズ・フォー」スタイルのバンドを早速結成しま

した。ギター・バンジョー・ベースの楽器編成です。

練習を重ね、高校の文化祭や他校の文化祭のステージにも立つことになりました。高校2年の時には、当時横浜の大学生や高校生が中心となって結成されたフォークサークル『ハマフォーク・ジャンボリー』に入会しました。いつも500人～1,000人程度入るホールが満員の中、フォークコンサートが開催されました。またフォーク関連のラジオに出演したこともあります。

私たちのバンドは大学生生活途中で一旦活動を休止することになりますが、その後も交流を続け、少しずつではありますが音楽活動をしておりました。

今から14年程前、永らく活動を休止していた横浜のフォークサークルも活動を再開。呼応して、我々のバンドの活動も再開しました。その後、年1～2回、横浜や東京に行きステージに立っております。ただコロナの期間中は、殆ど活動ができませんでした。久々に今年の3月から横浜でライブ活動を再開。この秋にはサークルの60回記念コンサートに出演予定です。

いまや絶滅危惧種的な音楽かも知れませんが、音楽を通じた繋がりは広がっています。10年程前、東京のライブハウスで「ウエルキンズ」という4人編成のバンドとたまたま共演することになりました。中央大学のフォークソング研究会をたちあげた方々でした。(昭和44年卒業)素晴らしいハーモニーと楽器テクニックをもったバンドです。大学時代からメンバーを変えず、続けているとのことでした。元来モダンフォークは殆ど楽譜も無く、レコードやCDを聴いてメロディやハーモニーをとっていく方法が多いようです。このバンドの凄いところは、難しいジャズハーモニーの曲をコピーし完璧に歌っており、その音楽性の素晴らしさにはいつも感動しております。その後、横浜のサークルでのコンサートにも出演して頂き今も交流を続けております。

また地元神戸でも、音楽を通じた仲間と演奏を楽しんでいます。こちらでの40年来の音楽の仲間とは、時々ライブハウスでギターを爪弾き、ハモる楽しさを味わっています。

このようにして今も「モダン・フォーク」という音楽を通じて、同好の仲間との交流は益々広がっています。



父母会と白門会と私

兵庫父母連絡会支部長 西脇 栄



(写真は森下選手、北村選手の壮行会時の物、私は向かって右側です)

このたび、令和5年度父母連絡会兵庫県支部支部長を拝命致しました西脇栄と申します。どうぞよろしくお願い致します。振り返ってみれば1年生の時(一昨年)はコロナ禍でほとんどの行事が中止となりました。2年生の時(昨年)は少しコロナも落ち着き活動も本格的に再開しました。父母会を活性化するため幹事ラインを活用しています。特にスポーツ応援事業(スポーツ)に力を入れています。同支部には駅伝部、硬式野球部、ラグビー部、アメフト部に所属されているご父兄もおられて情報交換をしています。近くで応援可能ならば有志にて中大応援グッズを持って出向いています。特に中央大学といえば駅伝です。藤原監督、山本コーチが兵庫県出身ということもあり箱根駅伝、全日本大学駅伝は特別事業活動として参加しています。私が父母会に加入した1

年生のとき箱根駅伝総合6位(10年振シード権獲得)、2年生のとき最高に盛り上がり大躍進の総合2位(2年連続シード権獲得)。

そして・・・今年度の100回記念大会で目標であるアレができれば最高と思っています。いつのまにか私はバリバリの中央大学駅伝ファンになっていました。

昨年度は、白門会の方々には全日本大学駅伝で合同応援をさせていただいたり、プロ野球ドラフト選手の森下選手(阪神)北村選手(ヤクルト)の壮行会の合同参加を企画していただいたりしてありがとうございました。

今年度も、精一杯頑張りますのでご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

学員会兵庫支部幹事長をお受けして

兵庫白門会幹事長 道上 明

神戸ブルースカイ法律事務所 弁護士

(昭和50年法学部卒)



このたび模泰吉先生の後任として、幹事長をお引き受けすることとなりました道上 明です。40年前同先生の下で弁護士として勤めさせていただいたことがご縁です。

月並みな言葉ですが、誠に浅学非才の身ではありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

私が在学中は、校舎は御茶の水にあり、いわゆる学園紛争の「残り香」があった時代でした。4年間のうち、学年末試験の2回はレポート試験でした。

しかし、自分がともかく弁護士として活動できるのは、中央大学のおかげだと思っています。法学部在学中3年生の時、周囲を見渡すと就職を考えている者、司法試験を目指している者、いろいろいまし

た。しかし、無謀にも司法試験にチャレンジすることを決意し、先輩や同僚のおかげで合格することができました。神戸にいますとその恩返しがほとんどできません。この幹事長のお話があったとき、恩返しのひとつでもできればと思いお受けしました。

大学は、お茶の水から八王子に移転しました。しかし、50年たち一部都心回帰しています。これを機に母校が益々隆盛を極めることを希望しますし、学員会がその一助となることを願っています。

思いきって言うならば、「中央大」は、東京の「中央」にあってほしいと思っています。このことは、一部成就しました。

輝かしい未来が広がることを祈念しています。

兵庫白門会但馬支部新任の挨拶

但馬白門会支部長 坂田 裕
(昭和52年商学部卒)



今年度から山田 勝氏の後を受けて中央大学但馬白門会会長を務めさせていただくことになりました坂田 裕(ゆたか)です。

私は昭和52年3月に商学部商業貿易学科を卒業後、地元但馬の金融機関である但馬信用金庫にUターン就職以来勤続年数46年6ヵ月を迎える今年9月末で退職予定です。

現在地区の役員、お寺の会計監査も務めてはいる

ものの退職後の10月からは少しは時間も取れると思いますので兵庫白門会但馬支部として兵庫白門会の皆様との交流を深めていきたいと思います。

また、今年4月の地方統一選挙で久しぶりの選挙戦となった兵庫県議会議員豊岡市・美方郡選挙区で但馬白門会会員である橘 秀太郎氏が2回目の当選となり、神戸と但馬地域との距離も何かと近くなったような気がします。これからどうぞ宜しくお願い致します。

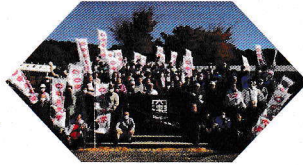
活動報告

全日本大学駅伝対校選手権大会に参加して



不動正章（昭和60年法学部卒）

令和4年11月6日に開催された第54回全日本大学駅伝対校選手権大会の沿道応援に兵庫白門会から学员22名・父母連絡会18名の総勢40名が参加しました。



9年ぶりの大会参加となった一昨年の第53回大会（8位）はコロナ感染拡大防止の観点から沿道応援は自粛となったため、第44回大会（9位）から実に10年ぶりの沿道応援となりました。今大会、中央大学は5時間13分3秒



と前年の第53回優勝の駒沢大の記録5時間12分58秒に迫る好記録でしたが、1位から4位までの4校が大会新記録というハイレベルな戦いで惜しくも7位となりました。駅伝終了後、猿田彦神社の宮司の方が本学OBとのご縁で境内の会場を提供いただき、陸上部の選手部員・藤原監督・野村部長を迎えて激励会が開催され、2024年の第100回箱根駅伝優勝を誓い、盛会裡に終わりました。

奈良白門会による近畿ブロック懇親会に参加して

司法書士 本體楊心流柔術三段 時岡アヤ子（平成8年法学部卒）

令和4年3月4日、奈良白門会による近畿ブロック懇親会として、明日香村高松塚古墳とキトラ古墳の見学に出かけました。近畿には数々の古墳がありますが、とりわけ彩色壁画で有名なこの2つを実際に見学するのは私にとって初めてのことで、しかも奈良ソムリエの会によるガイドつきとあって、期待は自ずと膨らみます。

高松塚古墳は二重円墳で、周りをぐるりと回ると確かに段差がわかります。すぐそばに壁画のレプリカを収めた小さな建物があり、その中も見学します。学校の教科書で見たあの万葉装束の女性や男性、玄武や星座の壁画が展開図のように鮮やかに展示されています。

その後キトラ古墳に向かいます。程なくバスを降りて、あたりを見渡すようななだらかな丘陵を上ります。案内版がなければ見過ごしそうな、山懷に抱かれたキトラ古墳が

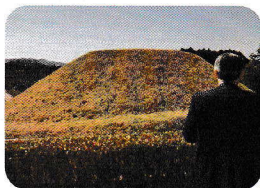
現れました。こちら手前の大きな建物に展示がありますので、上ってきた道を下って見学に向かいます。

展示室に入ってすぐ左手に、別なガイドさんがいます。ガイドさん同士のあ・うんで今回は特別に、キトラ古墳の玄室の原寸大模型そのお値段1億円の空間の中を、傷つけないように細心の注意を払って2、3人ずつ見学します。

最後は奥村組社長の免震構造のお話もあり、またお土産もいただき、なんとも盛りだくさんな一日でした。

改めまして奈良白門会の皆様に感謝申し上げます。

今回の近畿ブロック懇親会の担当は兵庫白門会です。兵庫と言えば、国宝姫路城。来年3月24日日曜日を予定しておりますので、皆様楽しみにしてください。



令和5年度中央大学兵庫白門会行事予定

月	日	行 事	場 所	備 考	月	日	行 事	場 所	備 考
5	20日(土)	全国支部長会・学員会総会	駿河台キャンパス		10	21日(土)	滋賀白門会総会		
	11~14日	陸上競技部関東インカレ	国立競技場			25日(水)	第95回兵庫白門会ゴルフ会	滝野カントリー	
6	10日(土)	兵庫白門会理事会	花隈・豊福			29日(日)	第41回全日本大学女子駅伝大会	仙台市	前回14位
	18日(日)	父母連絡会総会	ANAホテル神戸		11	5日(日)	第55回全日本大学駅伝対校大会	名古屋~伊勢	前回7位
7	15日(土)	大阪白門会総会	ホテル阪神			中~下旬	但馬白門会交流懇親会	豊岡市内	
8	19日(土)	和歌山白門会総会	ダイワロイヤル		12	中旬	有志忘年懇親会	モーリア	
	22~27日	全日本大学準硬式野球選手権大会	堺市内野球場		1	2~3日	第100回東京箱根間往復駅伝大会	東京~箱根	前回2位
9	2日(土)	京都白門会総会	ハトヤ瑞鳳閣		2	18日(日)	第4回全国招待大学男女混合駅伝	長居公園特設コース	前回3位
	10~18日	陸上競技部日本インカレ	国立競技場		3	上旬	中大出身力士激励会	神仙閣	
	30日(土)	兵庫白門会総会	ANAホテル神戸			中旬	兵庫白門会理事会	未定	
10	9日(日)	第35回出雲全日本大学選抜駅伝	出雲市	前回3位		24日(日)	近畿ブロック交流会	姫路城見学	兵庫担当
	14日(土)	鶴野飛行場跡中大学生見学会	加西市鶴野	近畿ブロック					

白美会からのお知らせ

藤居玲子 (昭和62年文学部卒)

2018年から、関西では特に貴重な中央大学出身者の女性が集まれる場があればと「白美会」を始めました。学部や年代に関係なく、中央大学を卒業した女性や中央大学を卒業した子供をもつお母様方など、「中央大学」を共通点に、女性ならではの交流、情報交換が出来たらと活動して参りましたが、3年に渡る新型コロナウイルスの影響で、「白美会」もみんなで集まる事が出来なくなっていました。

新型コロナウイルスも5類になり、いよいよ活動開始の時期が来たかなと今年10月7日土曜日に、滋賀のMIHO美術館の見学と近江牛を堪能する企画を考えました。仕事早い白美会の企画会議で、時間など確認したところ、明石からでも日帰りでのご参加が可能です。

MIHO美術館は、よくご存じの方もおられると思いますが、世界的建築家I.M.ペイの設計で1997年にオープンしました。「桃源郷」のイメージで、建築物の8割が地下に埋没している設計で、周りの山々との融合を感じられます。

滋賀信楽の山間の美術館で、新しい息吹を感じませんか。是非、お誘いあわせの上、ご参加ください。

今回の日程が合わない方も、これからも、女性の方が興味を持っていただけるような企画を楽しみながら考えていきたいと思っています。是非、ご参加お待ちしております。また、どうぞ男性の方々も、中央大学出身の女性や中央大学出身の子供をもつお母様をご存知でしたら、是非ご紹介いただけるようお願いいたします。

中央大学兵庫白門会収支計算書

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

項 目			金 額	項 目			金 額
前年度繰越金			775,238	1	通信費		53,410
収入の部	1	令和4年度会費	320,000	2	事務費		120,710
	2	総会会費・役員会費	55,000	3	総会経費・役員会経費		55,000
	3	総会祝儀・会費	-	4	他支部総会等参加経費		-
	4	補助金	-	5	慶弔見舞金		13,871
	5	支部活動費	100,000	6	旅費交通費		10,260
	6	雑収入	12,006	7	事務用消耗品費		11,000
小 計			487,006	8	雑費		1,100
合 計			1,262,244	次年度繰越金			996,893
				合 計			1,262,244

青山 裕一	今里 良三	香山 廣紀	小松 大作	島本 克彦	谷田 豊明	西岡 良和	藤居 玲子	守本 幸一郎
赤井 浩康	上田 英彦	狩俣 健	小紫 英尚	白河 清文	玉田 純造	西口 文雄	藤村 輝子	安田 善彦
秋田 眞治	江中 正望	河合 一晃	小山 毅	進藤 寛治	檀特 竜王	西田 勇一	藤本 孝文	矢野 博之
浅原 敏彦	大野 順也	川上 法男	酒井 隆明	菅野 知樹	寺尾 祐志	西村 輝雄	藤本 守孝	山口 照雄
東 正毅	大山 文雄	川西 隆之	坂口 真一	鈴木 隆正	寺北 建樹	野中 よし枝	藤原 利明	山口 正明
安積 正	岡田 信	河原 正範	坂田 裕	関 通孝	東郷 将貴	萩野 廣之	不動 正章	山田 直樹
天野 宏	小川 秀驥	岸本 洋子	坂本 浩一	徐 竜寿	時岡 アヤ子	模 泰吉	星川 啓明	山田 勝
家元 洋	小川 政希	木谷 順亮	坂本 典三郎	高橋 光男	徳久 正	橋本 英彦	前島 良弘	山本 和寿
池内 貞彦	小川 雅弘	北元 誠子	佐川 善彦	高濱 均	富永 浩司	走出 保雄	前田 實	山本 清輝
池上 昭男	小川 裕二	木村 圭助	佐柳 秀樹	高山 和久	友久 和幸	八山 恭光	牧 徹	山本 剛
池田 學	沖島 琢磨	久木田 昌三	佐野 仙好	田口 清郎	友弘 正人	花田 高士	間瀬 俊道	山本 敏道
石川 武信	尾崎 美智恵	窪田 和人	澤田 郁子	武田 博	中井 晃	原 良彦	松崎 正俊	湯浅 善應
石丸 鐵太郎	尾崎 美幸	幸岡 清	澤田 恒	多田 尚史	中野 二郎	日村 和夫	松本 貞人	吉川 公夫
伊地知 正治	尾上 壽男	小玉 浩嗣	三田 裕貴	橘 秀太郎	中山 正暉	平田 武博	松本 誠樹	吉田 一郎
板井 浩之	尾上 憲宏	壽 英司	三道 政弥	辰巳 仁章	永井 康裕	平田 満慶	道上 明	吉田 稔
伊藤 俊紀	垣添 誠雄	小畑 昌之	椎名 晃	田中 貢士	永見 猛	平林 孝	三村 浩之	渡部 万平
茨木 純一	糟谷 武久	小林 啓作	柴田 茂徳	田中 總吉	南都 靖	廣戸 章	村田 昌史	
今井 清純	加納 彰一	小林 廣夫	東海林 明	谷口 幸三	西岡 彦弥	福永 武郎	本山 尚己	

2022年度 物故者

2022年9月以降にご逝去情報を事務局へお知らせのあった会員のみを掲載しています。

ご冥福をお祈り申し上げます。

萩野豊和・前田信行・井口寛司・水上啓治

編集後記

コロナ禍の行動制限のかかる中、記事を書いていただける人を探すというのは困難を極め、走出支部長の人脈、お人柄がなくしては、発行は難しかったと思います。休刊するとか、取りやめるとかというのは簡単ですが、再開するにはさらにエネルギーを費やします。2023年度は一気に物事が動き始めましたが、何もしなくても困らなくなってしまった昨今。その時代にまた始めようという勇氣に感銘いたします。総会・懇親会、白美会の美術館ツアー、駅伝応援他すべて復活しますので、どうぞ多くのご参加をお待ちしております。一歩踏み出しましょう。Y・N



すべての行事のお問合せは事務局までおねがいします。

発行日 2023年 9月 1日

発行責任者 支部長 走出保雄

編集責任者 野中よし枝

編集委員 不動正章

時岡アヤ子

事務局 神戸市中央区海岸通8番

神港ビル2階

神戸ブルースカイ法律事務所

弁護士 道上 明

電話078(321)5558

E-mail a-michigami@mta.biglobe.ne.jp

事務局よりのお知らせ

○ 支部年会費ご送金のお願い

支部規約により当支部会員の年会費は2,000円となっています。何かと大変な時期に恐縮ですが、同封の郵便振替用紙にて

令和5年度分年会費を10月末日までにご納付下さい。

○ 中央大学OB、OGに関する情報提供のお願い

卒業、転勤、引越などで、新たに兵庫県内に在住、在勤をしたOB、OGの方に関する情報がございましたら、事務局にご一報下さい。